

東京都立翔陽高等学校 令和4年度 教科[家庭] 科目[家庭基礎] 年間授業計画

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2単位

対象学年組： (第2学年1組～5組)

使用教科書： (新家庭基礎 パートナシップでつくる未来 (実教出版))

使用教材： (2022 生活学Nabi 資料+成分表 家庭 (実教出版))

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	家庭科を学ぶにあたって	「家庭基礎」を学ぶにあたって、学習のねらいや内容、情報収集など学習の方法を理解する。	知識・判断能力・実践的技能の習得	1
	第1編 人とかかわって生きる 第1章 自分らしい生き方と家族 1節 自分を見つめる	自分自身について客観的に知り、一生について考えてライフステージごとの課題を理解する。		1
	2節 自立した生き方、共に生きる人生	男女共同参画社会で自分らしさを発揮しつつ、男女が協力して生活を創造することを考える。		2
	3節 共に生きる家族	パートナーとの出会い、結婚について日本の現状を理解させる。家族・家庭の役割について学習する。		2
	4節 家族に関する法律	家族に関する法律について、現在の社会の動きも交えながら学習する。		2

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月 5節 私たちの生活を支える労働と生活時間	家事労働・職業労働の意義、生活時間から見た現在の課題について理解し、改善策を考える。	知識・判断能力・実践的技能の習得	1
第2章 子どもとかかわる			1
1節 子どもを知る	子どもの世界にふれながら、保育分野を学ぶ意義を確認する。		
2節 発達のすばらしさ	子どもの成長・発達について理解を深める。		2
3節 子どもの生活	子どもの生活のリズムや食生活・衣生活、遊びについて学ぶ。		2
4節 親になることを考えよう	親の役割や親になる意義を知り、現在の親子関係について学ぶ。		2

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6月 5節 すこやかに育つ環境 3章 高齢者とかかわる 1節 高齢社会に生きる私たちの暮らし 2節 高齢者を知る 3節 豊かな高齢期を迎えるしくみ	子育て支援策や子どもの権利について学ぶ。 高齢社会の現状と課題、特に日本の高齢化の現状について理解を深める。 高齢者の心身の特徴や生活について理解する。 介護保険制度のしくみやサービスの内容、地域住民間での助け合いの活動などを理解する。	知識・判断能力・実践的技能の 習得	1 1 2 2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	第4章 社会とかかわる 1節 支えあう暮らしとは	家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉について理解する。	知識・判断能力・実践的技能の 習得	1
	2節 私たちの社会福祉	社会福祉、地域福祉について学ぶ。ボランティア活動について興味、関心を持つ。		1
	3節 地域社会の一貫としてのボランティア活動	ボランティア活動について理解を深める。	授業の取り組み、定期テスト及びプリントなどの提出物を総合的に評価する。	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	ホームプロジェクト	家族・家庭の充実向上を目指して、夏休みにホームプロジェクトを行う。	知識・判断能力・実践的技能の 習得	1

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月 第2編 第1章 食生活をつくる 1節 私たちの食生活 2節 栄養と食品のかかわり 3節 食品の選び方と安全	現在の食生活の現状や課題について学ぶ。 栄養素の種類と働きや、それぞれの栄養素が多く含まれる食品について基礎的な知識を習得する。 食品衛生（食中毒、食品添加物等）について学び、消費者として知っておくべき知識を習得する。	知識・判断能力・実践的技能の 習得	1 6 2

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	4節 食事の計画と調理	知識・判断能力・実践的技能の 習得	2
	5節 これからの食生活を考える		6

食事摂取基準、食品群別摂取量のめやすを用いてバランスの取れた食事計画ができる。

食料自給率や食生活と環境について考察する。エコクッキング実習をとおしてSDGsについて理解を深める。

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月 第2章 衣生活をつくる 1節 人と衣服のかかわり 2節 衣服の素材を見てみよう 3節 衣生活の管理	衣服の起源、機能や役割について学び、流行やアパレル産業など現状について理解する。 衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができる。 衣服の購入・洗濯・保管・処分までの流れを理解する。	知識・判断能力・実践的技能の習得	2 3 2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	4節 衣生活と資源・環境	資源・環境に配慮した衣生活について考える。	知識・判断能力・実践的技能の 習得	2
	5節 すべての人が快適な衣生活を	すべての人が快適な衣生活を送るために、衣服の安全性やユニバーサルデザイン等について学ぶ。	授業の取り組み、定期テスト、 ホームプロジェクト、作品及び プリントなどの提出物を総合的 に評価する。	2

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
第3章 住生活をつくる 1月 1節 人と住まいのかかわり 2節 住まいを計画する 3節 健康的な住まい環境 4節 安全な住まい環境	<p>住まいの機能、文化、風土とのかかわり、ライフスタイルと住まいとのかかわりについて理解する。</p> <p>ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画ができるようにする。</p> <p>健康に配慮した快適な室内環境（日照、採光、通風、換気など）について理解する。</p> <p>家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境（バリアフリー、ユニバーサルデザイン）について理解する。</p>	知識・判断能力・実践的技能の習得	1 2 1 2

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2月 5節 これからの住まいを考える 第3編 消費者として自立する 1章 消費行動を考える 社会の変化と消費生活 2節 消費者の権利と責任 3節 持続可能な社会環境	地域社会とのかかわりも含め、共生可能、持続可能な住まい、住環境について考察する。	知識・判断能力・実践的技能の習得	1
	第1節 消費行動において意思決定のプロセス契約、販売方法、支払方法、問題商法について理解し、解決方法を学ぶ。		2
	消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を学ぶ。		2
	資源・環境に配慮した衣生活について考え、実行力を高める。		1

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
第2章 経済的に自立する 1節 経済のしくみを知る	家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。	知識・判断能力・実践的技能の 習得	1
2節 ライフステージと経済計画	生活設計とかかわらせて、長期の経済計画の必要性について理解する。		1
3月 生活設計	家庭基礎の学習を生かして自分らしい生き方を設計する。	授業の取り組み、定期テスト及 びプリント、レポートなどの提 出物を総合的に評価する。	2